

証券コード：6258

# 第65期 HIRATA REPORT

平成27年4月1日～平成28年3月31日

**Hirata** The Global Production Engineering Company

平田機工株式会社

## 株主の皆さまへ

代表取締役社長 平田 雄一郎



本年4月の熊本県熊本地方を震源とする地震により、被災されました皆さまには心からお見舞い申し上げます。また、今般の震災に際し、株主の皆さまをはじめ関係者各位からいただきましたご厚情に対しまして、厚くお礼申し上げます。当社は、業務効率の向上を図るべく、本社を東京から発祥の地である熊本に移転いたします。震災で苦しむ熊本の方々と共に歩み、共にこの苦難を乗り越えていきます。

さて、第65期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経済情勢は、欧米諸国では個人消費主導の緩やかな景気回復が続いておりますが、中国においては、輸出競争力や経済成長率の低下に加え、中国経済の減速の影響を受けたアジア新興国においても景気が減速しています。一方、国内では、企業業績の回復や、雇用・所得環境の改善から景気は

緩やかな回復基調が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、受注量の拡大や、コスト競争力強化のために、海外子会社との協力、連携により現地調達、現地生産率を高めるなど、グローバル市場での事業拡大に注力してまいりました。また、国内市場におきましては、既存のお客さま、既存市場に対するシェア拡大や、今後成長が見込まれる事業領域に注力するなど、売上規模と収益の拡大のために営業活動を強化してまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は530億48百万円(前期比1.7%増)となり、営業利益は29億24百万円(前期比37.8%増)、経常利益は28億25百万円(前期比44.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は17億13百万円(前期比81.0%増)となりました。なお、当期の配当につきましては、1株あたり30.0円の配当を実施いたします。

## 通期業績の見込みについて

平成29年3月期の見通しにつきましては、個人消費が堅調に推移する欧米諸国を中心として、世界経済は全体的に緩やかな景気回復が見込まれますが、新興国においては、中国経済の影響を受け、引き続き景気の減速が予想されます。国内におきましても、雇用・所得環境の改善から景気は緩やかな回復基調が続くことが期待されるものの、円高進行や中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクにより企業業績の悪化が懸念されるなど、先行きは予断を許さない状況にあります。

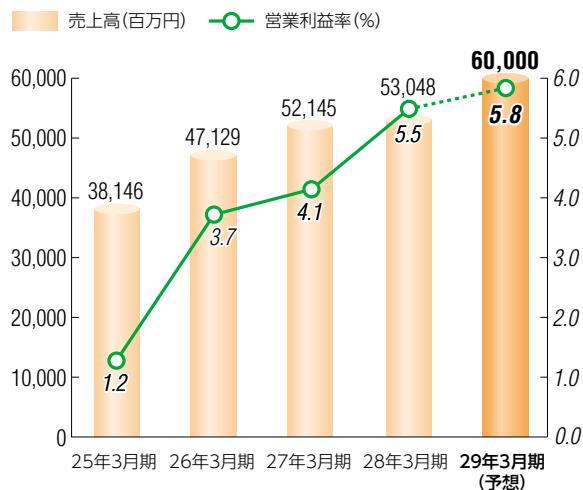
このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き事業拡大が期待できる市場や分野への積極的な展開に加え、コスト競争に対応するために、効率的な生産体制の構築など、グローバルな視点からの最適化と収益性の向上を図ってまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 平成28年3月期 累積実績と平成29年3月期の業績予想(連結)

項目	平成28年 3月期実績	平成29年 3月期予想 通期
売上高	530億円	600億円
営業利益	29.2億円	35億円
経常利益	28.2億円	35億円
親会社株主に帰属する当期純利益	17.1億円	23億円
1株あたり当期純利益	171.13円	229.72円
1株あたり配当金	30.00円	30.00円

■ 連結売上高・営業利益率推移



## ◎生産スペース確保のため熊本工場（東工場）増築

### 有機EL関連の受注量拡大対応

当社は、自動車、半導体、家電などの業界向けに多様な生産システムの製造・販売事業をグローバルに展開しており、半導体関連におきましては、有機エレクトロルミネッセンス（以下、有機EL）関連の生産設備も対応しています。その有機EL関連の受注量拡大に対応するために、熊本市北区植木町の熊本工場（東工場）第5棟を増築し、クリーンルームなどの生産スペースを拡大いたします。増築面積は約2,570平方メートル。工事は、2016年5月下旬に着工し、2016年10月末に竣工予定です。

当社はこれからも、変化し続ける市場の要望に応えられるよう、迅速かつ柔軟に対応してまいります。

## ◎株式会社ミスミとエコ電動ストッパーの販売契約を締結

### より一層の受注拡大を目指す

当社は、株式会社ミスミ（以下、ミスミ）とエコ電動ストッパーの販売契約を締結し、ミスミの販売サイトに掲載するユニット事例集「Unit Library」にて、2016年2月より本格的に販売を開始しました。

ミスミは、FA用部品や金型用部品の企画・製造・販売、ならびに製造副資材や消耗品の販売をグローバルに展開しています。カタログサイトMiSUMi-VONAでは自社および他社の1,200万点におよぶ商品を扱い、さらに同サイトにおいてユニット事例集「Unit Library」を掲載することで、顧客の設計や部品調達の効率化を支援しています。「Unit Library」ではミスミ商品と、当社が独自に開発したエコ電動ストッパー、スカラロボットARM-BASEシリーズとのコラボレーション事例が紹介されています。

[\[http://jp.misumi-ec.com/ec/unitlibrary/detail/000787.html\]](http://jp.misumi-ec.com/ec/unitlibrary/detail/000787.html)

グローバルで販路を持つミスミとの販売契約締結により、受注規模の拡大が期待できます。当社は今後、ミスミとの協業体制をさらに強め、ミスミのサイトにて販売する商品の種類を増やすことで、さらなる受注拡大に向けて取り組んでまいります。



▲エコ電動ストッパー

## ◎アメリカの安全規格である「UL規格、NITW,UL508A」認証を取得

北米の自動車業界との取引をより優位に

2015年12月、熊本工場で製作している制御盤において、「UL規格、NITW,UL508A」を取得しました。UL規格とは、アメリカ保険業者安全試験所 (Underwriters Laboratories Inc.:UL) が策定している、主に電気製品に対する安全規格です。この規格は、アメリカにおいて社会的に高い信頼を得ており、州や地方自治体においてUL認定が義務づけられていることも多く、UL認証取得はお客さまとの取引が優位になります。

特に北米の自動車業界においては、UL認証品使用の高い要求があります。本規格の取得により、現地での検査項目が省略され、工期短縮・コスト削減が図れ、Hirataの競争力がより高まりました。



▲UL規格を取得した自動車関連の制御盤



◀UL認証マーク

## ◎個人投資家向け会社説明会、決算説明会を実施

より多くの方にHirataを知っていただくために

Hirataの知名度向上や株主の増加などを目的として、機関投資家、アナリスト、個人投資家に向けた会社説明会や決算説明会を実施しています。2015年度は、東京、熊本、福岡、鹿児島などにて開催し、たくさんの方にご参加いただきました。

また、2016年3月2日には機関投資家グループの訪中イベントがあり、14名の方が上海の子会社HAS (Hirata Automated Machinery (Shanghai) Co.,Ltd.) を訪問。自動車関連設備のユニット組立ラインやG8ロボットなどを見学されました。

今後も、より多くの方へHirataを知ってもらうために、各地区での開催を計画しています。



▲2015年12月に熊本で開催した会社説明会では、約110名の方々が参加

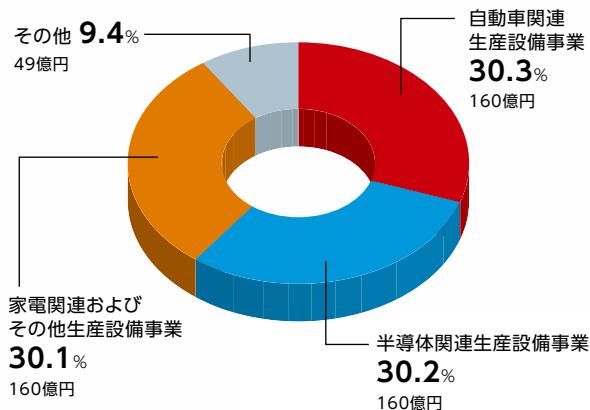


▲HASで設備の説明をする平田社長

## 事業部門別概況

### 当期売上高内訳

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)



売上高

**530** 億円

受注高

**609** 億円

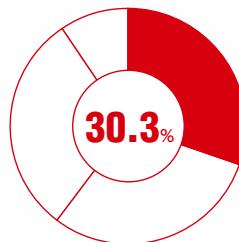
受注残高

**317** 億円

当期間の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連、半導体関連、家電関連およびその他がいずれも160億円の約30%とバランスのとれた構成になり、増収となっております。今期の売上高は、600億円を予想しております。

## 自動車関連生産設備事業

エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 **160** 億円

対前期増減率 **+2.2%**



### 第65期実績

自動車関連生産設備は、北米市場向けのパワートレイン関連設備や、国内自動車部品メーカー向け設備などの受注に支えられました結果、売上高は前期比2.2%増の160億65百万円となりました。受注高は、北米メーカーのパワートレイン関連の案件を多数受注し、前期比10.6%増の214億28百万円となりました。今期の売上高は、200億円を予想しております。



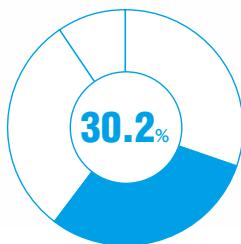
クラッチ組立装置



自動車部品のグリッパー搬送設備

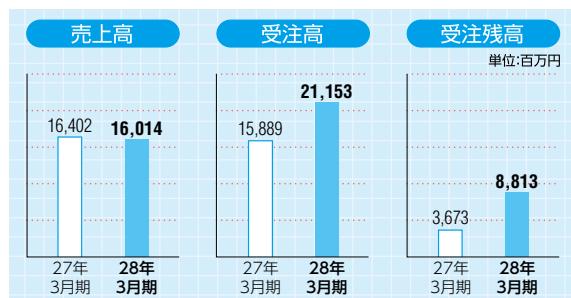
## 半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、レジスト塗布装置などのFPD関連生産設備の製造・販売



売上高 **160** 億円

対前期  
増減率  $\Delta$  **2.4%**



### 第65期実績

半導体関連生産設備は、ウェーハ搬送設備案件や、有機EL関連の生産設備などが予定どおりに推移しました結果、売上高は前期比2.4%減の160億14百万円となりました。受注高は、有機EL関連および国内外の半導体装置メーカー向けの装置などを中心に増加し、前期比33.1%増の211億53百万円となりました。

今期の売上高は、200億円を予想しております。



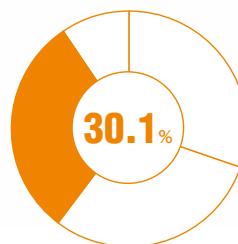
真空プラットフォーム



塗布貼合装置

## 家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、テレビ、掃除機などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **160** 億円

対前期  
増減率 **+23.9%**



### 第65期実績

家電関連およびその他生産設備は、タイヤ関連設備、掃除機関連設備を予定どおりに売上げました結果、売上高は前期比23.9%増の160億円となりました。受注高は、タイヤ関連などの受注減により、前期比23.5%減の137億17百万円となりました。

今期の売上高は、150億円を予想しております。



鋼板自動面取り装置



家電部品組立ライン

## 連結財務諸表(要約)

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (27.3.31)	当連結会計年度 (28.3.31)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	42,033	40,758
現金及び預金 …………… ①	9,389	7,631
受取手形及び売掛金 … ②	24,713	21,795
たな卸資産	5,094	8,262
繰延税金資産	1,850	1,626
その他	1,056	1,505
貸倒引当金	△ 68	△ 64
<b>固定資産</b>	19,764	18,923
<b>有形固定資産</b>	15,705	15,653
建物及び構築物(純額)	4,216	3,915
土地	9,736	9,717
その他	1,751	2,020
<b>無形固定資産</b>	432	398
<b>投資その他の資産</b>	3,627	2,872
投資有価証券	2,728	2,278
破産更正債権等	38	43
退職給付に係る資産	464	—
繰延税金資産	6	83
その他	585	697
貸倒引当金	△ 196	△ 230
<b>資産合計</b>	<b>61,798</b>	<b>59,681</b>

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (27.3.31)	当連結会計年度 (28.3.31)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	28,351	30,592
支払手形及び買掛金 … ③	11,353	10,835
短期借入金	7,448	6,304
1年内返済予定の長期借入金 } ④	3,844	6,518
賞与引当金	15	35
その他	5,689	6,898
<b>固定負債</b>	11,582	7,504
長期借入金 …………… ④	8,432	4,305
退職給付に係る負債	—	329
その他	3,149	2,869
<b>負債合計</b>	<b>39,933</b>	<b>38,097</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	16,015	16,803
資本金	2,633	2,633
資本剰余金	2,322	2,414
利益剰余金	11,352	12,908
自己株式	△ 293	△ 1,153
<b>その他の包括利益累計額</b>	5,579	4,444
<b>非支配株主持分</b>	269	336
<b>純資産合計</b>	<b>21,864</b>	<b>21,584</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>61,798</b>	<b>59,681</b>

### ポイント

#### ① 現金及び預金

現金及び預金は、借入金の返済などにより、前期比17億57百万円の減少となりました。

#### ② 受取手形及び売掛金

受取手形及び売掛金などの売上債権は、売掛金の回収が順調に進み、前期比29億17百万円の減少となりました。

#### ③ 支払手形及び買掛金

支払手形及び買掛金などの仕入債務は、仕入高の減少により、前期比5億18百万円の減少となりました。

#### ④ 有利子負債

有利子負債は、売掛金の回収によって生じた余剰資金を返済に充てた結果、前期比25億96百万円の減少となりました。

## ■連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	〔自 26.4.1 至 27.3.31〕	〔自 27.4.1 至 28.3.31〕
売上高	52,145	53,048
売上原価	43,763	42,794
売上総利益	8,382	10,254
販売費及び一般管理費	6,259	7,329
営業利益	2,123	2,924
営業外収益	154	161
営業外費用	315	260
経常利益	1,962	2,825
特別利益	6	0
特別損失	33	92
税金等調整前当期純利益	1,935	2,734
法人税等	934	1,034
当期純利益	1,000	1,700
非支配株主に帰属する当期純利益(損失)	53	△ 13
親会社株主に帰属する当期純利益	946	1,713

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	〔自 26.4.1 至 27.3.31〕	〔自 27.4.1 至 28.3.31〕
営業活動による キャッシュ・フロー	3,704	2,651
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 402	△ 872
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,816	△ 3,549
現金及び現金同等物に 係る換算差額	355	12
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	840	△ 1,757
現金及び現金同等物の 期首残高	8,548	9,389
現金及び現金同等物の 期末残高	9,389	7,631

## ポイント

### 5 売上高

売上高は、各事業部門共に堅調に推移し、当社過去最高となる530億48百万円(前期比1.7%増)となりました。

### 6 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の増加に加え、原価率の低減により、営業利益は前期比37.8%増の29億24百万円となりました。経常利益は、前期比44.0%増の28億25百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期が税制改正に伴う税負担が高かったこともあり、前期比81.0%増の17億13百万円となりました。

### 7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益27億34百万円に対して、売上債権が27億58百万円減少、たな卸資産が33億52百万円増加したことなどにより、26億51百万円の増加となりました。

### 8 投資活動によるキャッシュ・フロー

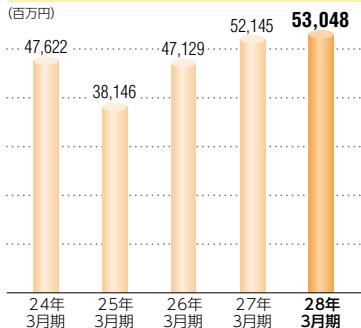
投資活動による資金は、有形固定資産の取得7億9百万円などにより、8億72百万円の減少となりました。

### 9 財務活動によるキャッシュ・フロー

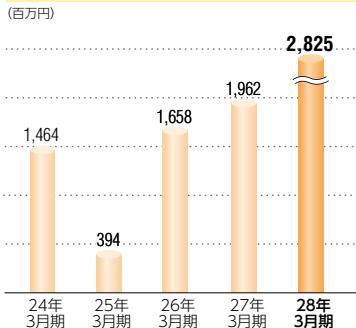
財務活動による資金は、短期借入金の減少11億26百万円、長期借入れによる収入30億円、長期借入金の返済による支出44億52百万円などにより、35億49百万円の減少となりました。

# 財務ハイライト

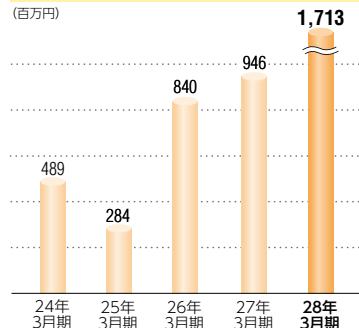
## 売上高



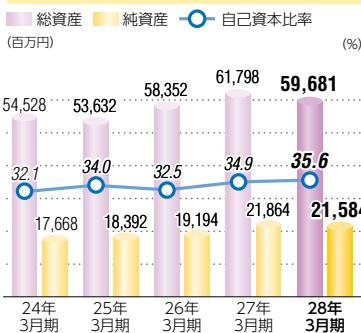
## 経常利益



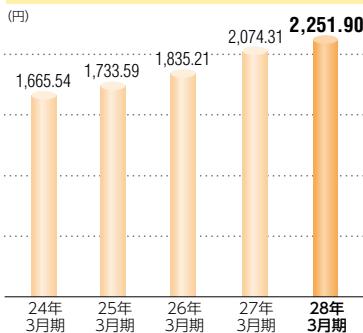
## 親会社株主に帰属する当期純利益



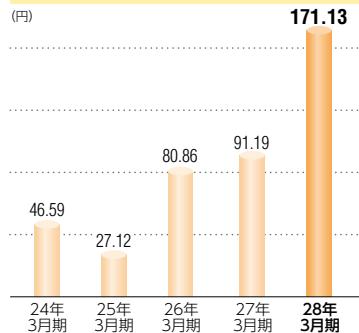
## 総資産／純資産



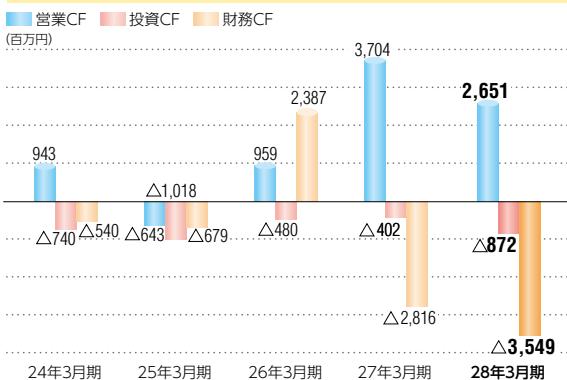
## 1株あたり純資産額



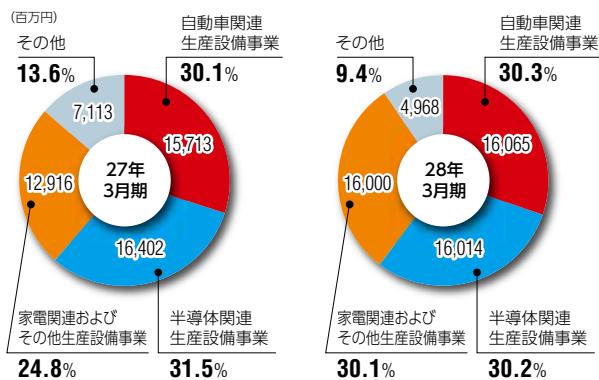
## 1株あたり当期純利益



## キャッシュ・フロー



## 事業別売上高および比率



## 会社概要 (平成28年6月23日現在)

会社名	平田機工株式会社
会社設立	1951年12月29日
資本金	2,633百万円
従業員数	2,007名(連結 平成28年3月31日現在)
業務内容	各種生産システム、産業用ロボットおよび物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地	熊本県熊本市北区植木町一木111番地

役員	代表取締役社長	平田 雄一郎	常勤監査役	元田 直邦
	代表取締役副社長執行役員	橘 勝義	監査役	村田 邦夫
	取締役執行役員	田中 敏治	監査役	鳥巢 宣明
	取締役執行役員	安高純一郎	監査役	今村 憲
	取締役執行役員	藤原 五男	執行役員	平田正治郎
	取締役執行役員	平賀 靖英	執行役員	河本 行広
	取締役執行役員	本郷 仁基	執行役員	印南 静男
	取締役執行役員	黒田 健治	執行役員	藤本 靖博
	取締役執行役員	市原 雄一	執行役員	兼子 利憲
	社外取締役	雀部 博之	執行役員	大久保 洋隆
	社外取締役	鳴沢 隆		

## 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

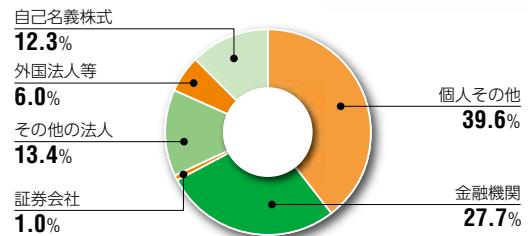
- 発行可能株式総数 37,000,000株
- 発行済株式総数 10,756,090株
- 株主数 1,864名

### ■大株主の状況

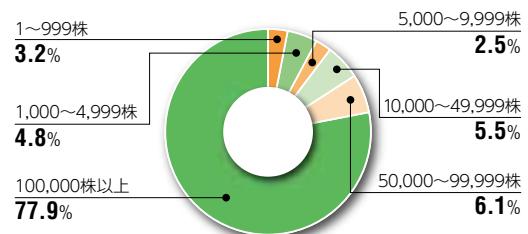
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	815,700	8.64
平田機工社員持株会	626,010	6.63
平田 雄一郎	583,100	6.18
SMC株式会社	500,000	5.30
株式会社肥後銀行	456,000	4.83
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託0700053	400,000	4.24
平田 正治郎	326,400	3.46
ニッコンホールディングス株式会社	272,400	2.89
平田 隆三郎	261,500	2.77
平田 宏之	235,772	2.50

上記のほか、当社が保有している自己株式が1,320,574株あります。  
持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### ●所有者別株式分布状況



### ●所有株数別株式分布状況



## 株主メモおよびその他のIR情報

### 株主メモ (株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
証券コード	6258
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	<郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 <電話照会先> 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故 その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経 済新聞に掲載して公告します。

#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### その他のIR情報

当社ホームページの個人投資家向けのページには、当社の事業内容、業績の推移、あゆみなどさまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

#### ■ 平田機工株式会社ホームページ



<http://www.hirata.co.jp/>

#### ■ IR情報



<http://www.hirata.co.jp/ir/>

#### ● IR情報に関するお問い合わせ先

平田機工株式会社  
管理本部 経理部 IRグループ IR・広報課

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail [hirata\\_info@hirata.co.jp](mailto:hirata_info@hirata.co.jp)

## 平田機工株式会社

### 本社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地  
TEL.096-272-0555 FAX.096-272-7901